

○令和7年11月25日(火)「東海環状地域整備推進協議会」がシンポジウムを開催。
愛知県知事、岐阜県知事をはじめ、沿線首長・自治体や企業・一般から、約400名が参加。

概要

◇日 時: 令和7年11月25日(火) 14:00～16:30 (開場13:30)

事業報告

中日本高速道路(株) 名古屋支社長 前川 利聡 氏

基調講演「地方創生は高速道路から～東海環状道でつくるニューシティ～」

(一社)人口減少対策総合研究所 理事長 河合 雅司 氏

パネルディスカッション

テーマ:「東海環状自動車道のある中部の未来を展望する」
～東回り開通後のこれまでの20年とこれからの中部のリ・デザイン～

◇場 所: 名古屋市中企業振興会館 吹上ホール メインホール

◇主催者: 東海環状地域整備推進協議会

◇来場者数: 約400名



会場状況



ストック効果パネル展示



基調講演



(一社)人口減少対策総合研究所
河合理事長

パネルディスカッション



岐阜大学
加藤客員教授



(株)パロー ホールディングス 小池社長	日東工業(株) 大野部長	ヤマザキマザック マニファクチャリング(株) 小林所長	プロロジス 村上部長	(一社)中部 経済連合会 小林部長	(株)日建設計 総合研究所 安藤主席研究員
----------------------------	-----------------	-----------------------------------	---------------	-------------------------	-----------------------------

主催者・来賓挨拶、基調講演 概要

■開会挨拶



愛知県
大村知事

今年は東海環状自動車道東回りの開通20周年の節目であり、現在約9割が開通し、沿線ではものづくり産業をはじめとした様々な企業誘致が進むなど、中部地域の成長に大きく貢献をしてきました。今後は、西回り区間の早期開通をはじめ、広域道路ネットワークを一層強化し、物流の効率化、観光交流圏の拡大、災害に屈しない強靱な社会基盤の構築など、中部地域の更なる発展につなげることが重要です。

本日のシンポジウムでは、これまでの20年を振り返り、今後の中部の未来を展望いたします。東海環状自動車道が地域と産業の未来を結ぶ成長の環として、中部、そして我が国全体の持続的な成長を力強く支える存在であり続けることを祈念をいたしまして、主催者としてのご挨拶とさせていただきます。



岐阜県
江崎知事

今後、岐阜県と三重県の県境区間がつながると、いよいよ東海環状自動車道が完成します。全線が開通した時に起きる物流・人流の変化は、我々の想像を超えたものになるでしょう。これは経済だけではなく、南海トラフ地震発生時の命の道路になることは間違いありません。

道路はつながってこそ価値が倍増していくものであり、経済、命を守る、そんな素晴らしい道路がこの日本のど真ん中にできるということです。我が国の競争力を高めるためにはそうしたビジネス環境が重要になりますので、本日のシンポジウムはまさにそういった未来を語っていただける、実りあるシンポジウムになることを祈念をいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

■来賓挨拶



中部地方
整備局
森本局長

東海環状自動車道の事業は平成元年度の事業化以来推進され、愛知万博にあわせて東回りが開通、その後も整備が進み、今年3区間が開通し全体の約9割が完成しました。

東回りの工事着工から、沿線では工業団地の造成や製造品出荷額、そこに働く方々の増加など、様々な効果がもたらされてきました。令和6年1月には、東海環状自動車道を利用した広域的な医療の連携を進める「東海環状・飛驒医療ネットワーク協定」が締結され、非常に高度で良質な地域医療体制が構築されるということにもつながっています。

中部地方整備局としても中日本高速道路と連携し、早期全線開通に尽力します。引き続き、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

■基調講演

「地方創生は高速道路から ～東海環状道でつくるニューシティ～」

名古屋を含む東海環状自動車道のエリアでは、人口減少、高齢化が進んでいます。今後、東海環状自動車道 全線開通によるストック効果をより引き出すためには、街の作り方を21世紀の人口減少型に変えていく必要があります。

東海環状自動車道のエリアでは、人口230万都市の名古屋を囲むように30万、40万の都市が衛星的に存在しています。ものづくり、農業、自然環境等、このエリアのポテンシャルを最大限に引き出すため、高速道路を「1つの自治体」と見立てる街づくりをお勧めします。

高速道路は最後まで残るインフラです。SA・PA、ICに地域の生活機能を集約して拠点を作り、SAなどの隣接地に新たな街を形成することで、物流や救急搬送等を効率化し、少ないマンパワーで都市機能を維持することができると考えます。

これらの拠点のネットワーク化は東海地区を次の日本経済の推進エンジンとし、我が国の豊かさを作り出していく新たな都市モデルとなります。我々がこの東海地区をどうリ・デザインしていくのかに、我が国の未来がかかっています。



(一社)人口減少対策総合研究所
河合理事長

■閉会挨拶



岐阜県 本巣市
藤原市長

本巣市では8月30日に本巣IC～大野神戸IC間が開通いたしました。そのすぐ南側の市役所から毎日、東海環状自動車道を見えています。大型トラックを中心に活用されているのを見て、いかに東海環状自動車道が物流に貢献しているかということを感じています。

東海環状自動車道は、岐阜県、三重県の県境の区間が未開通で残っています。1日も早いミッシングリンクの解消と4車線化を、今日お集りの皆様と一緒に、実現のために一生懸命努力していきたいと思っております。

今後とも、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。閉会のご挨拶とさせていただきます。

パネルディスカッション 概要

■ パネルディスカッション「東海環状自動車道のある中部の未来を展望する」～東回り開通後のこれまでの20年とこれからの中部のリ・デザイン～

(株)バローホールディングス 小池社長



弊社は東海環状自動車道を利用し1日に約45便のトラックを走らせ、日配品、生鮮品を店舗に配送しており、弊社の物流事業にとって、東海環状自動車道はなくてはならない存在です。東回りが開通した際には、豊田市に物流センターを開設しました。

今後、関連業者と一緒にもっと効率の良い仕組みを作るためにも、4車線化を進めていただけるとありがたく思います。また、災害等により交通網が麻痺するリスクに対してどのように向き合うか、一緒に検討できればと思います。

プロロジス 村上部長



弊社は豊田東JCTのすぐ南でプロロジス岡崎プロジェクトという計画を進めるなど、中部エリアの道路、交通、物流の要衝となる場所に開発を進めています。東海環状自動車道については、国内最大の製造業の集積地である名古屋経済圏の経済活動や成長を支える重要なインフラであると捉えています。

物流の観点では、車両の大型化、連結トラック、自動運転の実用化、社会実装や、積雪時の除雪余地を確保する観点からも、早期の全線開通や4車線化の積極的な推進に期待します。

日東工業(株) 大野部長



令和6年の春、せと品野ICから5～10分の場所に工場を移転しました。製造しているブレーカーのような電気部品の配達では、ご注文いただいた翌日に全国のお客様への配達に努めており、ICに近接した立地条件は非常に重要でした。また、東海環状自動車道の整備により迂回ルートが確保できることは、翌日配達を目指している当社の強みの一つにつながっていると考えております。

EV充電器の設置や冬季の霜・雪対策により、トラックドライバーに優しい環境整備に期待します。

(一社)中部経済連合会 小林部長



ものづくり産業の中核圏域である中部圏が国際競争に打ち勝ち、日本経済を支え続けるには、道路整備による物流の更なる効率化、災害時の強靱化が必要不可欠です。東海環状自動車道の最大の効果は、企業進出を加速させた点にあり、名古屋港や中部国際空港へのアクセスの向上が企業の競争力の強化につながったことは大きいと考えています。また、観光面でも大きな効果が得られました。

この効果を最大化するため全線開通、4車線化に期待し、引き続き活動して参ります。

ヤマザキマザックマニュファクチャリング(株) 小林所長



弊社は名古屋を中心として東海環状自動車道沿いに拠点を持っており、一緒に成長してきました。いなべ製作所に関しては、東海環状自動車道の整備が進んだことによって、物流だけでなく、サプライヤーとのネットワークの広がりや、関係協力会社との強固なネットワークを築くことができるようになり、昔と比べると雲泥の差で良くなってきています。

今後は、人材の確保や交流の拡大に資する全線開通の早期実現と、災害や事故時にも機能を維持できるよう4車線化の推進に期待します。

(株)日建設計総合研究所 安藤主席研究員



東海環状自動車道の沿線には個性的な街がつながっていると強く感じました。東海環状自動車道を活用してどのように街を連携させていくのかに注目するのが大事であり、環状道路を活用して公共交通軸を作るという発想があるのではないかと思います。

そのためには自治体間の連携と、自治体内の道路部局とまちづくり部局の連携が大事であり、自治体と企業との連携で、東海環状公共交通軸をうまく使う、成長させていく取り組みが必要ではないかと考えています。